

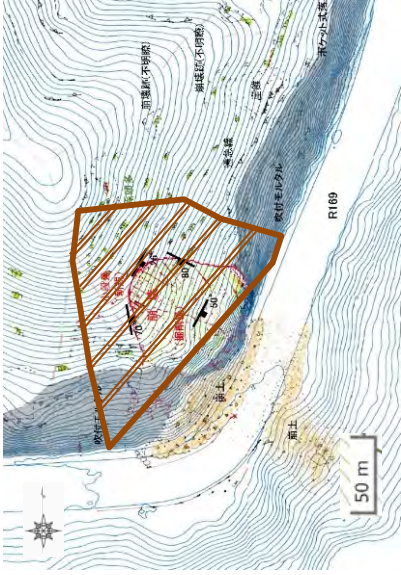


7 恒久対策案 国道の復旧計画

(第2回委員会提示資料)

		第1案：現道における復旧案		第2案：橋梁案		第3案：排土工事	
工法概要		緩み土塊をアンカー工等の斜面対策で抑止する案。	法尻部に補強土壁や鋼管杭工を施工し道路川側に、橋梁を施工する案。	緩み土塊を除去後、鉄筋挿入工等で切土のり面を安定化案。			
リスク		斜面対策工のアンカー工については維持管理が必要である。	橋脚等への崩土・落石対策が必要である。	土捨て場の確保が必要。背後に岩盤すべりがある場合は不適である。			
対策案							
例えば		排土整形＋法枠(ロックボルト) (範囲：例えば100m×100m) ＋抑止工 (アンカー工)	2車線規格による付替橋梁 (規模：例えば延長200m×高さ30m×幅員11m)	排土整形＋法枠(ロックボルト) (範囲：例えば200m×150m)			
経済性		約数億円	約20億円	約数千円～数億円			
工期		1年～2年	1年～3年	1年～2年			

⇒引き続き調査結果を踏まえ次回以降の委員会にて議論